

テレワーク導入事例活用セミナー

テレワークが日本の中小企業を
元気にする



《会社概要》

会社名 株式会社 石井事務機センター

2018年9月13日より社名が株式会社 WORK SMILE LABOへ変わります

所在地 岡山市南区福浜町15-10

設立 明治44年(1911年)創業

従業員 32名(新卒5名含む)

経営理念 「働く」に笑顔を!

業種 **笑顔溢れるワークスタイル創造提案業**



会社概要

私たちは、もともと筆や墨の販売で創業し、時代の流れと共にオフィス家具・OA機器の販売を中心とした地域の事務機屋でした。

数年前に他社との差別化をするにあたり、お客様に「より良いワークスタイルを提案する」会社になるために我々の業種を

『笑顔溢れるワークスタイル創造提案業』
と変えました。

中小企業へより良い働き方を提供するにあたり、まずは**自社の働き方における様々な課題を解決することで、お客様へノウハウを含めたご提案**を行っております。

地方の中小企業がなぜ、テレワークを始めたのか？

2016年4月、一番はじめのキッカケは

- 小さな子供のいるパート社員が、以前は子供の急な病気で休むことが多かった。
- 休む方も・休まれる方も双方に負担があった。

少ない人数で運営している中小企業では、
**代わりの人材がおらず、業務へ与える影響は
大きいことが実状。**

口には出ませんが、 お互いこんな風感じていました



休む側

- 急な欠勤で会社や仲間に迷惑をかけるのが心苦しい
- 休んだ分、収入が減る

休まれる側

- 一人当たりの仕事量や負担が増え、残業が発生する



また出産などの際も今までは退職するか、復帰をしても時間の都合でパート社員としての雇用しかできなかった。

導入効果（仕事とプライベートの両立）

子供による急な休みに対応できるようになった



＋の効果

出退勤時間が無くなり、尚且つ仕事の合間の休憩時間に家事を行うことができ、生活にゆとりが生まれた

社内と同じ環境で仕事が出来ながら、電話対応・来客対応が無い分、専門業務の生産性が向上

導入効果

全社員テレワーク活用による生産性の向上 (残業時間の削減)

残業時間 (一人平均)

業績

【2016年6月】内勤メンバーへのテレワーク導入

2016年2月 41.7時間/人	➔	2017年2月 18.9時間/人	=	54.7%減
2016年3月 48.4時間/人	➔	2017年3月 23.5時間/人	=	51.5%減
2016年4月 56.6時間/人	➔	2017年4月 26.2時間/人	=	53.8%減
2016年5月 33.8時間/人	➔	2017年5月 22.3時間/人	=	34.1%減

【2016年6月】内勤メンバーへのテレワーク導入

2017年2月	売上	81.90%	粗利	127.9%
2017年3月	売上	87.10%	粗利	96.90%
2017年4月	売上	115.2%	粗利	114.1%
2017年5月	売上	111.2%	粗利	113.3%

【2017年6月】外勤メンバー含む、全社員へのテレワーク導入

2016年6月 40.3時間/人	➔	2017年6月 17.6時間/人	=	56.4%減
2016年7月 39.7時間/人	➔	2017年7月 15.7時間/人	=	60.5%減
2016年8月 39.0時間/人	➔	2017年8月 30.5時間/人	=	21.8%減
2016年9月 36.2時間/人	➔	2017年9月 29.4時間/人	=	18.8%減
2016年10月 35.9時間/人	➔	2017年10月 28.7時間/人	=	20.0%減
2016年11月 50.6時間/人	➔	2017年11月 30.4時間/人	=	39.9%減
2016年12月 37.2時間/人	➔	2017年12月 26.4時間/人	=	29.0%減

【2017年6月】外勤メンバー含む、全社員へのテレワーク導入

2017年6月	売上	117.8%	粗利	119.7%
2017年7月	売上	99.60%	粗利	92.07%
2017年8月	売上	117.6%	粗利	127.1%
2017年9月	売上	122.0%	粗利	128.6%
2017年10月	売上	131.2%	粗利	109.6%
2017年11月	売上	211.8%	粗利	199.8%
2017年12月	売上	112.7%	粗利	110.4%

残業

41.3%減

売上

104.8%

粗利

113.6%

人時生産性

107.6%

その他の導入効果

- 1 2016.11.28
総務省
「テレワーク先駆者百選」受賞



- 2 地元メディアへ取り上げられることが増え、
企業イメージが向上

新聞	18回	TV	13回	情報誌	20回	ラジオ	1回	講演	18回
----	-----	----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----

平成29年1月～平成30年8月

3 採用力向上 (新卒採用)

来春卒業予定の大学生らの希望就職先ランキング

順位	企業名
1 (2)	中国銀行
2 (1)	両備グループ
3 (7)	両備システムズ
4 (3)	トマト銀行
5 (8)	天満屋
6 (6)	ハヤシ
7 (5)	おかやま信用金庫
8 (9)	山陽新聞社
9 (12)	石井事務機センター
10 (4)	日本カバヤオハヨーホールディングス
11 (66)	廣榮堂
12 (17)	ハローズ
13 (21)	カイトック
14 (48)	ベネッセインフォシエル
15 (18)	クラブン
16 (23)	ライト電業
17(204)	イタミアート
18 (72)	セキスイハイム中四国
19 (43)	山陽マルナカ
20 (14)	林原

※かっこ内は前年順位

山陽新聞 2018年4月4日掲載



岡山企業
山陽新聞社(岡山市)は、2019年春卒業予定の大学生らを対象にした地域企業の希望就職先ランキングをまとめた。1位は中国銀行(同、前年2位)だ

来春卒業予定の大学生らの希望就職先ランキング

順位	企業名
1 (2)	中国銀行
2 (1)	両備グループ
3 (7)	両備システムズ
4 (3)	トマト銀行
5 (8)	天満屋
6 (6)	ハヤシ
7 (5)	おかやま信用金庫
8 (9)	山陽新聞社
9 (12)	石井事務機センター
10 (4)	日本カバヤオハヨーホールディングス
11 (66)	廣榮堂
12 (17)	ハローズ
13 (21)	カイトック
14 (48)	ベネッセインフォシエル
15 (18)	クラブン
16 (23)	ライト電業
17(204)	イタミアート
18 (72)	セキスイハイム中四国
19 (43)	山陽マルナカ
20 (14)	林原

※かっこ内は前年順位

志望理由(複数回答)は「社風がよい」が2年連続最多。働き方改革が注目される中、職

4位トマト銀行(同、同3位)、5位天満屋(同、同8位)と続いた。

1位の中国銀行は「安定性がある」「知名度が高い」などの理由で選ぶ人が目立った。金融機関への就職希望者は、安定性を挙げる回答が多かった。

アンケートは、学生の就職活動を支援する山陽新聞社の「就活DASH!事務局」が今年1月から3月にかけて

岡山県内で、同社主催の合同就職説明会などに参加した学生延べ2881人を対象に実施。1228人が志望企業と選んだ理由を答えた(回答率42・6%)。ランキングは、第1希望の企業を5点などとして総合点を集計した。

同事務局は「知名度の高さで企業を選ぶ傾向が強い。イメージだけにこだわらず、会社研究をして有意義な就活をしてほしい」としている。(平田亜沙美)

希望就職先 中銀1位
来春卒業生ら 本紙調査 職場環境を重視

- 衰退業界
- 社名・業界が一昔前のイメージ
- 企業規模は30名以下
- BtoBで学生への知名度は低い

2017年度新卒採用実績

- 2017年度新卒採用実績 **5名**
- 2017年度新卒内定辞退 **0名**

2018年度新卒採用実績

- 2018年度新卒採用実績 **5名**
- 2018年度新卒内定辞退 **0名**

岡山県内で **9位**

4 採用力向上（中途採用にも効果があった）

求人票に『在宅勤務可』と一文あるだけで、
応募者数が向上。

さらに、優秀な人材からの応募も増えた。

ハローワーク

124%

ホームページ

241%

中小企業のテレワーク導入のポイント

- 仕事を単に社外に持ち出して行うことではない

➡ **いかに職場と同じ環境を
会社外で整えられるかが重要**

テレワーク導入への3つの課題

労務
管理

コミュニ
ケーション

情報
セキュリティ

労務管理

●出退勤をクラウド管理

コスト:一人300円/月



➔ 携帯で操作ができる

➔ 出勤退勤時の
位置情報が確認できる

KING OF TIME使用

●PCログ管理システム

コスト:10,000円/月



➔ 作業時間・作業内容の
見える化

Ahkun AutoDaily使用

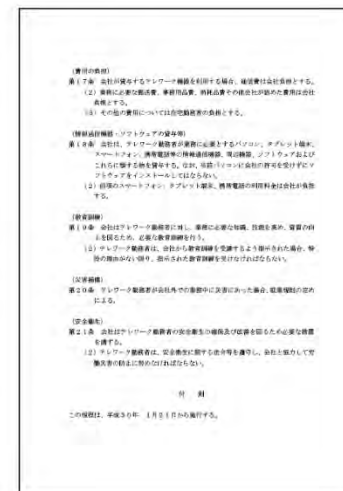
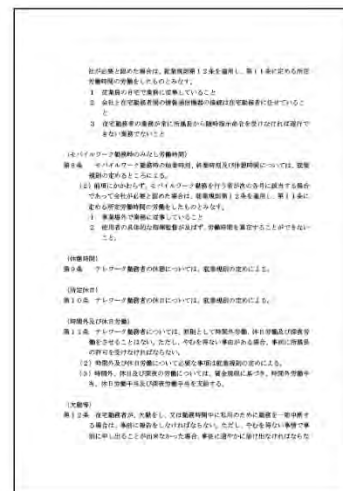
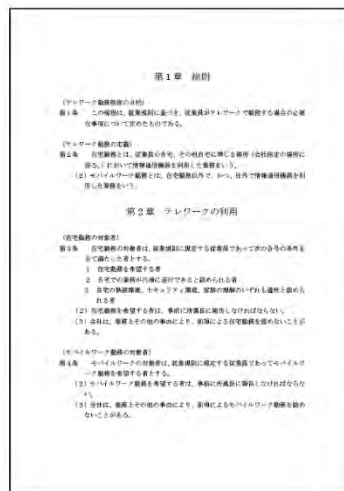
労務管理②

●テレワーク規定の作成

テレワーク規程

株式会社 石井事務機センター

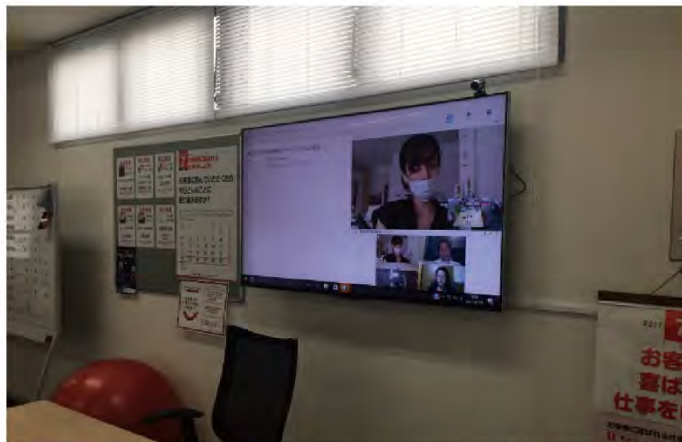
- ➔ 自社の職種や、社内の状況に応じて作成
- ➔ 労働局へ提出
- ➔ 定期的に見直しをする



コミュニケーション

●Web会議システムを活用

コスト:10,000円/月



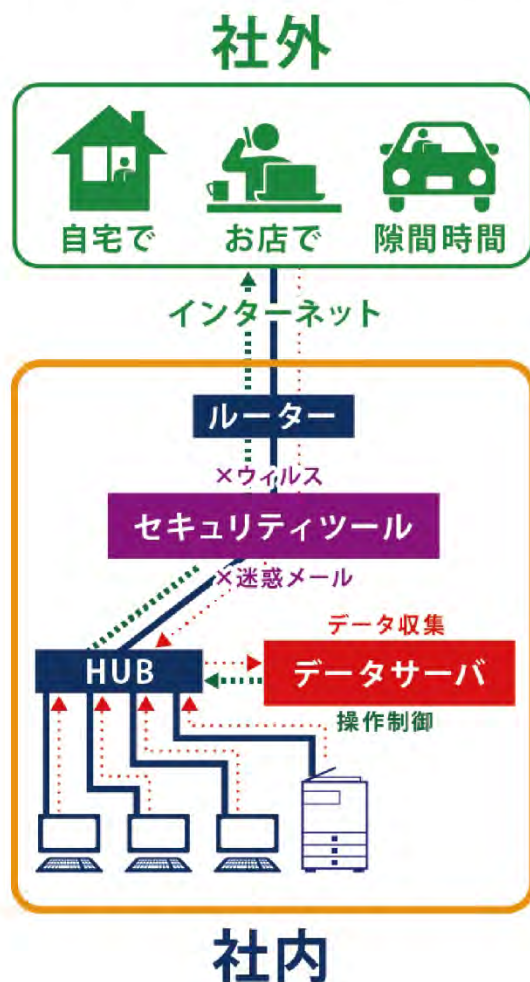
- ➔ 社内テレビを設置して、テレワーク勤務者と常時接続
- ➔ マイク・スピーカーで社内と会話
- ➔ 複雑なやりとりも画面共有で解決
- ➔ 会議にも参加

WebEX使用

情報セキュリティ

●情報の一元管理と統合セキュリティ対策

コスト:30,000円/月



- ➔ 社内データは全て共有サーバーで管理
- ➔ 社内のセキュリティレベルを高める (ネットワークセキュリティ対策)
- ➔ クライアントPCの集中管理 (作業の見える化・操作制御)
- ➔ 外部からのリモートアクセス

UTM/リモートアクセスVPN/ Ahkun AutoDaily使用

中小企業のテレワーク導入のポイント

1 導入 中小企業は資金や運用する人材の確保が難しい

➔ 既存の商材やサービスを活用し、コスト面や導入面のハードルを下げる。



➔ 運用面は社内ルールと規定を作り、不足している部分を補う。

2 活用 導入後はテレワークを活用する社員と、しない社員が出てくる

➔ 全職種の生産性を見える化し、評価に連動させ、テレワーク活用を推進する

とにかく少人数でもいいので始めることが重要

共有型サテライトオフィス開設



2018年9月13日(木)

◆岡山駅から徒歩3分

◆テレワークブースも完備

共有型サテライトオフィス開設

都心部では、
自社の社員が効率的に働けるよう、
本社や支店以外のいたるところに
小規模なオフィスを設け、本社などと同じような
仕事ができる環境をつくることです。

地方都市では、
テレワークを活用した共有型オフィスを
中核都市に設置することで

社員さんの出勤できる拠点を増やす

—中小企業がサテライトオフィスを開設するには
資金的にも難しい。。。↓

複数の会社様と共有にすることで、
家賃などの経費も、非常に安くできる

営業職

設計職

経理などの事務職

出社しなくても出来る仕事

共有型サテライトオフィスに出勤してもらうことで、

生産性を向上させる
残業時間を減少させる

働き方改革と中小企業

地方の中小企業こそ、働き方改革を実践すべき

なぜなら、

多くの中小企業が直面している
「経営課題」を解決できる

採用力
向上

生産性
向上

残業
問題

育休
産休

介護

働き方改革と中小企業

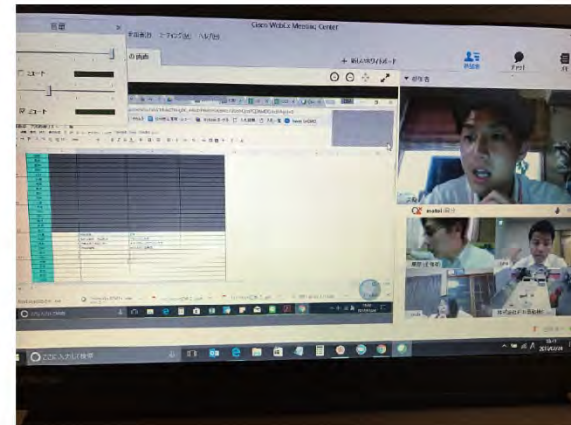
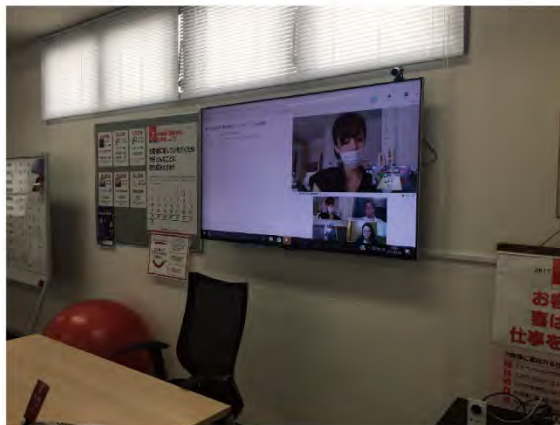
日本の99.7%が中小企業。
発想を変えて、「働き方改革」をチャンスと捉える

多様な働き方に応えられる体制を早く整える

社員満足度向上

採用力向上

離職防止



一緒に“新しい働き方”始めませんか？

ご清聴、ありがとうございました。



「働く」に笑顔を!

